

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用							担当課	担当課評価
細 施策	①文化財の保護と活用							文化財保護課	A
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの貴重な歴史的財産である文化財を後世に残し、伝えていくために、文化財調査等の実施を通して隠れた貴重な文化財を見だし指定します。</li> <li>・文化財の保護に努めるとともに、文化の価値を生かした活用を積極的に図ります。</li> <li>・地域の文化財をその周辺環境も含め、総合的に保存活用していくための基本構想を策定します。</li> </ul>								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財数266件(前年度比101%)</li> <li>・埋蔵文化財調査件数 発掘調査件数:4件(前年度比200%) 試掘調査件数:83件(前年度比115%)</li> <li>・その他文化財調査件数:11件(前年度比92%)</li> <li>・埋蔵文化財出土品貸出件数:11件(前年度比:110%)</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 指定等文化財数				【説明】 市、県、国指定等文化財数				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実績値						目標値 (H27)
	件	246	H22 250	H23 252	H24 256	H25 257	H26 264	H27 266	255
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新指定文化財等として新たに2件が指定されました。</li> <li>・埋蔵文化財の試掘調査件数は増加し、記録保存のための発掘調査は適切に行われました。</li> </ul>								
改善の方策等	埋蔵文化財の活用にあたり、調査期間中の現地説明会の開催等により広くその重要性の周知を図ります。また、学校との連携を図り出土品の貸出しや出前講座等を推進します。								

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用							担当課	担当課評価
細 施策	②文化財保護意識の啓発							文化財保護課	B
施策の内容	国民の財産である文化財の価値を市民に周知し理解を深めるために、文化財保護意識の啓発に努めます。								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新遺跡発表会参加者数:69人(前年度比133%)</li> <li>・文化財防火訓練参加者:115人(前年度比112%)</li> <li>・職員の講師派遣:4回(前年度比:22%)</li> <li>・啓発用刊行物(新規・改訂):なし</li> </ul>								
成果実績	項目名(単位)	H25		H26		H27			
	最新遺跡発表会参加者数(人)	32		52		69			
	啓発用刊行物の新規・改訂 刊行数(件)	1		0		0			
評価の理由	最新遺跡発表会参加者、文化財防火訓練参加者が増加しており、おおむね順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発事業の開催等に関わる広報をより広く展開します。</li> <li>・文化財保護活動団体や学校等と積極的に協働を図りながら、文化財保護意識の啓発に努めます。</li> </ul>								

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			担当課	担当課評価
細 施 策	<b>③民俗文化財の保存と後継者の育成</b>			文化財保護課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>民俗文化財を地域ぐるみで保存継承する体制の確立を支援協力します。</li> <li>後継者養成を積極的に支援します。</li> </ul>				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>川越氷川祭の山車行事保存会の開催回数(研修会含む):5回(前年度比125%)</li> <li>民俗文化財保存修理の補助事業件数:6件(前年度比200%)</li> <li>無形民俗文化財後継者養成の補助事業実施団体数:16団体(前年度比100%)</li> </ul> ※1 民俗文化財保存修理事業件数/無形民俗文化財の道具及び民俗芸能等に関わる有形文化財の件数(36件) ※2 後継者養成事業実施団体数/無形民俗文化財保存団体数(18件)				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	民俗文化財保存修理率(%) ※1	6	8	17	
	後継者養成事業実施団体率(%) ※2	83	89	89	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>民俗文化財の保存継承に必要な会議を実施しました。また、継承していくために必要な道具等の保存修理を計画的に進めました。</li> <li>後継者養成事業については、補助申請のあった団体に対して、すべて補助ができました。</li> <li>後継者育成の仕組みを確立することに課題がありますが、おおむね順調に進ちよしています。</li> </ul>				
改善の方策等	保存団体と協力しながら、民俗文化財への理解が深まるような発表の場が更に増えるように努めます。また、後継者育成の仕組みを確立するよう努めます。				

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			担当課	担当課評価				
細 施 策	<b>④重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実</b>			都市景観課	A				
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統的建造物の保存修理を計画的に実施し、地区の特性を生かした歴史的風致の維持・向上に努め、重要伝統的建造物群保存地区の保存整備を行います。</li> <li>地区のPRや関連する事業との調整を行います。</li> </ul>								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>保存修理事業(国庫補助対象)/原家住宅店棟及び住居棟：屋根、外壁 山屋渡り廊下及び杉の間：屋根、柱、床 金大主屋及び土蔵：屋根、外壁 中市本店主屋：屋根</li> <li>修景事業(国庫補助対象)/坂重薬局新築</li> <li>伝統的建造物の追加特定/星野・田中両家住宅店棟、市ノ川家住宅主屋</li> <li>地区の啓発パンフレット作成/建造物MAP、防災ガイド、許可の流れ、修理・修景等事例</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 伝統的建造物の修理件数累計			【説明】 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業における大規模な修理事業の件数					
	単位	現在値(H21)	実 績 値					目標値(H27)	
指標の推移			H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	件	34	38	41	46	51	57	61	55
評価の理由	伝統的建造物所有者の修理要望の把握及び保存対策調査を計画的に実施したことにより、修理件数累計が目標値を上回っており、順調に進ちよしています。								
改善の方策等	保存修理事業を計画的に実施していくため、引き続き伝統的建造物所有者の意向把握や保存対策調査による現状把握に努めます。また、補助金の財源確保のため文化庁等との連絡調整に努めます。								

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			担当課	担当課評価
細 施 策	<b>⑤指定文化財の維持管理の充実と活用事業</b>			文化財保護課	<b>A</b>
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定されている有形文化財の維持管理を継続的に行い、その保存に努めます。</li> <li>博物館や関係各課と連携し、その活用を図ります。</li> </ul>				
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定文化財保存(維持管理・保存修理)の補助事業実施件数:29件(前年度比116%)</li> <li>指定文化財管理報償金支給件数:143件(前年度比103%)</li> <li>永島家住宅(旧武家屋敷)の見学者人数:1,714人(前年度比95%)</li> </ul> ※1 指定文化財保存事業実施件数(民俗芸能関係除く)／指定文化財件数(登録・重要美術品を除く指定文化財のうち民俗文化財(有形・無形)を除く民間所有の文化財件数:212件)				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	指定文化財保存事業実施率(%)※1	13	12	14	
	川越城本丸御殿・蔵造り資料館・永島家住宅入館者数(人)	216,151	216,710	236,196	
評価の理由	有形文化財の保存のための補助事業は、所有者からの申し出通り補助ができました。また、文化財管理者に対し管理報償金を支給して、適切な維持管理ができました。教育委員会が所管する3件の文化財の入館者数の合計は昨年より増加し、公開事業は順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	有形文化財の所有者・管理者と協力して、文化財の適切な維持管理と文化財の価値を高め、いく保存を継続して推進し、その上で文化財の活用を推進します。市所有の文化財についても、他課と連携して適切に維持管理し、更に活用が進むように努めます。				

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			担当課	担当課評価			
細 施 策	<b>⑥河越館跡地等の整備・活用</b>			文化財保護課	<b>C</b>			
施策の内容	郷土学習の場、市民の憩いの場として国指定史跡河越館跡史跡公園等の整備を継続し、市民や自治会等の公共団体、NPO、大学等と協働してその有効活用を図ります。							
平成27年度実績	史跡公園(未整備地を含む)の活用を目的としたイベントを文化財・歴史の理解を前提とした内容で企画・実施しました。(1件)							
指標及び説明	【指標】			【説明】				
	①河越館跡地の史跡公園整備率 ②国指定史跡河越館跡史跡公園活用事業数累計			①指定史跡面積中の公有化面積に占める整備面積の割合 ②河越館跡史跡公園を利用した事業の総数				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値					目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26	H27
	① %	30.4	30.4	30.4	30.4	30.4	30.4	30.4
② 件	0	1	2	1	1	1	1	5
評価の理由	史跡公園を活用したイベントは、地元自治会・保存会を含む実行委員会形式で流鏝馬を実施しました。							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の整備に向けて、発掘調査等から得られた成果の精査・検討を進めていきます。</li> <li>今後の活用として、市主催の他に地元住民や隣接する小学校等が主催するような事業が実施されるように調整を図ります。</li> </ul>							

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱		(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①文化財の保護と活用	文化財保護課	A	B	B
	②文化財保護意識の啓発	文化財保護課	B		
	③民俗文化財の保存と後継者の育成	文化財保護課	B		
	④重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実	都市景観課	A		
	⑤指定文化財の維持管理の充実と活用事業	文化財保護課	A		
	⑥河越館跡地等の整備・活用	文化財保護課	C		
学識経験者等 意見等	<p>・町並みの保存や整備については、所有者と連携を図りながら、できるだけ現在の町並みを保存する方向で整備を進めていただきたい。</p> <p>・民俗文化財については、地域の大切なお祭りであるので、後継者の育成に努めていただきたい。</p>				B

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(2)川越らしい文化芸術の振興			担当課	担当課評価
細 施 策	①連携・協働による新たな文化芸術の創造			文化スポーツ部 文化芸術振興課	A
施策の内容	さまざまな団体や人々との連携や協働により、文化芸術の振興を図るとともに、本市にふさわしい新しい文化芸術の創造に努めます。				
平成27年度実績	平成27年度は①大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル、②川越市総合文化祭、③川越市民文化祭、④川越市美術展覧会、⑤文芸川越の発行、⑥2音大クラシック・コンサート等の文化芸術事業を実施しました。				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	文化芸術団体との協働による文化芸術事業件数(件)	7	7	6	
評価の理由	市内外の文化芸術団体との連携・協働により、文化芸術に関わる事業を実施しています。恒例となっている事業も多く、市民への周知が図られ、順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	本市の文化芸術団体等と連携し、新たに開館した川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(ウェスタ川越)大ホール等とその他市内各文化施設の特性を活かした新しい文化芸術事業を実施するように努めていきます。				

施策の柱	(2)川越らしい文化芸術の振興			担当課	担当課評価			
細 施 策	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり			文化スポーツ部 文化芸術振興課	A			
施策の内容	新しい価値観を持つ若い世代の方々が、中心的に活躍してもらう環境を整え、文化芸術事業に積極的に参加・活動してもらうための事業を検討します。							
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中高生や近隣大学生の参加を得て「大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル」を、また、尚美学園大学と東邦音楽大学と連携して「2音大クラシック・コンサート」をウェスタ川越大ホールにて開催しました。</li> <li>・平成27年度から文化芸術振興課において「高校生小説大賞」を実施しました。</li> <li>・平成26年度から「川越市美術展覧会」の出品手数料に学生料金を設定しました。</li> </ul>							
指標及び説明	【指標】 若い世代の参加事業の取組		【説明】 若い人向けイベント年間開催数(ホールを利用したイベント)					
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値					目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26	H27
	回	0	0	1	2	2	2	2
評価の理由	「大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル」、「2音大クラシック・コンサート」は、若い世代が中心的に活躍できる事業として、地域の中高生も参加し、盛大に開催することができました。目標値は達成し、順調に進ちよくしています。							
改善の方策等	若い世代が積極的に参加できる事業の企画や学生料金の設定など、若い世代が文化芸術事業に参加しやすい環境づくりに努めます。							

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(2)川越らしい文化芸術の振興							担当課	担当課評価
細 施 策	③特色ある文化芸術拠点の整備							文化スポーツ部 文化芸術振興課 美術館	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)に計画中的の新ホールは、良質な芸術の鑑賞機会を提供するなど、市民はもちろん県西部地域の人々に親しまれる施設として整備します。</li> <li>・市立美術館は、質の高い芸術作品に触れる場とするとともに、市民の文化芸術活動の創作・発表の場として、整備充実を図ります。</li> </ul>								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年7月1日に川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(ウエスタ川越)大ホールを供用開始しました。</li> <li>・美術館については、               <ul style="list-style-type: none"> <li>①実績値は平成26年度を上回っており、目標値を達成しています。</li> <li>②実績値は前年度と同様であり、平成24年度以降、目標値を達成しています。</li> <li>③実績値は前年度を下回っており、目標値を下回っています。</li> </ul> </li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 ①教育普及ボランティアの活動実施 ②市民ギャラリーの利用促進 ③創作室の利用促進				【説明】 ①美術館市民ボランティアの活動回数 ②市民ギャラリーの利用年間稼働数 ③創作室の年間利用稼働率				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実績値					目標値(H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	①回	0	20	26	49	62	40	54	20
	②週稼働	45	49	42	51	49	49	49	47
③稼働率/%	46.6	44.0	43.0	43.9	47.1	49.0	40.2	65.0	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(ウエスタ川越)大ホールが平成27年7月1日に供用を開始し、指定管理者等による様々な事業が行われるなど順調に進ちよくしています。</li> <li>・美術館については、               <ul style="list-style-type: none"> <li>①教育普及ボランティアの活動は、目標値を大幅に上回っており、順調に進ちよくしています。</li> <li>②実績値は平成24年度以降、目標値を上回っており、順調に進ちよくしています。</li> <li>③実績値が基準年度から減っているため、進ちよくはあまり順調ではありません。</li> </ul> </li> </ul>								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(ウエスタ川越)大ホールでの良質な芸術鑑賞の機会が提供できるよう、指定管理者との協議を今後も引き続き進めます。</li> <li>・美術館については、               <ul style="list-style-type: none"> <li>①教育普及ボランティアの活動については、より参加の機会を増やし、自主性を持って活動できる内容になるよう工夫するとともに、継続して取り組んでいただくことができるよう努めていきます。</li> <li>②市民ギャラリーの利用については、さらに多くの団体が利用できるよう有効活用に努めていきます。</li> <li>③創作室の利用については、川越市立美術館ホームページ等を通じて、周知を図っていきます。</li> </ul> </li> </ul>								

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(2)川越らしい文化芸術の振興				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①連携・協働による新たな文化芸術の創造	文化芸術振興課	A	A	
	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり	文化芸術振興課	A		
③特色ある文化芸術拠点の整備	文化芸術振興課・美術館	B			
学識経験者等意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウエスタ川越については、利便性もあり良い施設であると思うが、時間帯を工夫するなど、さらに利便性を高めて、より多くの方が利用しやすい施設となるよう検討していただきたい。</li> <li>・川越らしい文化芸術の振興については、市内大学や、民俗芸能などの文化財等といった資源をさらに活用し、川越らしさをもっと大きく出していただきたい。</li> </ul>				A

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(3)文化芸術に触れる機会づくり			担当課	担当課評価
細 施 策	①文化芸術が身近にある環境づくり			文化スポーツ部 美術館	B
施策の内容	市民に良質な音楽、舞台芸術の鑑賞、また、市民のための文化芸術の発表と鑑賞など、身近なところで気軽に文化芸術に触れることができるために環境整備に努めます。				
平成27年度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別展を4回開催しました。※(春)昭和のこども (夏)ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方 (秋)ペインティングの現在 (冬)この絵、私が持っていました。</li> <li>・常設展を年4回開催しました。※小特集を組んだ展示替えを行いました。</li> <li>・タッチアートコーナーにおいて、年4回の企画展示を行いました。</li> </ul>				
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27	
	常設展観覧者数(人)	36,693	38,934	33,269	
	特別展観覧者数(人)	26,706	28,718	23,653	
評価の理由	常設展及び特別展の実績値は前年度を下回りましたが、公立美術館でなくてはできない地域の文化芸術について調査研究を行い、新たな川越の魅力を広く市民に公開することができたため、おおむね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	子どもから高齢者まで、幅広い世代が年間を通じて、美術を楽しむことができる展覧会の開催に努めるとともに、広報川越、川越市立美術館ホームページ、メール配信サービス、ツイッター、プレスリリース等を通じて、広く周知を図ります。				

施策の柱	(3)文化芸術に触れる機会づくり			担当課	担当課評価			
細 施 策	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり			文化スポーツ部 美術館	B			
施策の内容	次代を担う子どもたちが文化芸術に親しんでもらうために、鑑賞するだけでなく、文化芸術に触れ、体験する事業を促進します。							
平成27年度 実 績	①次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れる機会を増やすため、毎月テーマを変えたワークショップを実施しました。 ②中学校美術部の祭典を実施するとともに、準備期間中には、中学校美術部員を対象とした講習や特別展の鑑賞、模写を行う活動も実施しました。 ③川越市から県展覧会に出品された特選作品を一堂に展示し、広く市民等に鑑賞していただきました。							
指標及び説明	【指標】			【説明】				
	①ジュニアアートスクエアの開催 ②川越市立中学校美術部の祭典の開催 ③小中学生県特選美術作品展の開催			①子どものプログラムの実施回数 ②美術部展に参加している学校の数 ③展覧会の入場観覧者数				
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値					目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26	H27
	①回	0	9	12	12	10	12	12
	②校	17	17	18	20	21	20	21
③人	367	360	313	330	274	823	329	700
評価の理由	①②実績値からおおむね順調に進ちよくしています。 ③平成26年度からは大幅に減少しています。							
改善の方策等	①より内容を充実させたプログラムを企画し、継続して実施していきます。 ②円滑な運営に努め、質の高い展示を行っていきます。 ③他の事業と同時開催するなど、開催方法の工夫に努めていきます。							

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱		(3) 文化芸術に触れる機会づくり			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①文化芸術が身近にある環境づくり	美術館	B	B	B
	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり	美術館	B		
学識経験者等 意見	<p>・子どもたちに人気のある催しについては、ボランティアを活用するなど、できるかぎり参加できるようにしていただきたい。</p> <p>・美術館が遠くて足を運べないため、学校に来ていただくなど、文化芸術に触れる機会づくりを検討していただきたい。</p>				

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(4)文化芸術活動への支援と交流の促進		担当課	担当課評価				
細 施 策	①文化芸術活動への支援		文化スポーツ部 文化芸術振興課	A				
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術を行う団体等への支援を継続するとともに、市民から寄せられる情報を効率的に収集し、適切に発信するよう努めます。</li> <li>文化芸術の分野で顕著な成果を収めた人や振興に寄与した人への顕彰を行い、市民の文化芸術活動を促進します。</li> </ul>							
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>①市民文化祭の開催、②地区文化祭への補助金交付、③市美術展覧会の開催、④文芸川越の刊行、⑤2音大クラシック・コンサートの開催、⑥川越市総合文化祭の開催等、市民の文化芸術活動を支援する事業を行いました。</li> <li>平成28年1月に川越市文化スポーツ顕彰要綱を策定しました。</li> </ul>							
指標及び説明	【指標】 文化芸術の支援	【説明】 文化芸術を発表する機会の年間事業数						
指標の推移	単位	現在値 (H21)	実 績 値					目標値 (H27)
	事業	4	H22 5	H23 6	H24 7	H25 7	H26 6	H27 6
評価の理由	文化芸術団体への支援として、各種事業を各団体と連携して実施しました。目標値は達成しており、目標値を超えており、事業は順調に進ちよくしています。							
改善の方策等	今後も、文化芸術を行う団体等への支援を継続し、市民の文化芸術活動の促進に努めます。							

施策の柱	(4)文化芸術活動への支援と交流の促進		担当課	担当課評価
細 施 策	②文化芸術活動の場の整備		文化スポーツ部 文化芸術振興課	A
施策の内容	市民が身近なところで発表ができ、また、文化芸術の鑑賞ができるよう、施設及び場の整備に努めます。			
平成27年度実績	平成27年6月28日に川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(ウエスタ川越)大ホールの柿落とし公演を開催しました。その後も指定管理者による管理・運営が行われております。			
成果実績	項目名(単位)	H25	H26	H27
	西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)管理運営検討部会開催件数(件)	10	2	0
評価の理由	平成27年度に川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(ウエスタ川越)が開館し、順調に進ちよくしています。			
改善の方策等	今後は、川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(ウエスタ川越)の円滑な管理・運営を図るため、指定管理者と協議をしております。			

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(4)文化芸術活動への支援と交流の促進							担当課	担当課評価
細 施 策	③文化交流の促進							文化スポーツ部 文化芸術振興課 国際文化交流課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術団体相互の意見交換の場を設定し、ネットワークの強化を図ります。</li> <li>中学生に海外姉妹都市での生活文化を体験させ、相互理解と交流を促進します。</li> </ul>								
平成27年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術団体相互の交流を図るため、平成26年度まで市民会館で開催していた「総合文化祭開会式」を発展させ、ウエスタ川越で「川越市総合文化祭」として、川越市文化団体連合会、川越美術協会及び各文化芸術活動団体の協力により、開催しました。</li> <li>セーレム市訪問中学生交流団22人の派遣を実施いたしました。</li> </ul>								
指標及び説明	【指標】 文化施設の利用者数				【説明】 市民の文化活動を促進するための文化施設の利用者 (ここでいう文化施設とは川越市市民会館・やまぶき会館・川越西文化会館・川越南文化会館・川越駅東口多目的ホール及び川越市立美術館) ※平成27年6月末日をもって川越市市民会館が閉館している ※( )内の数字は、川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(平成27年度より供用開始)の利用者数を加えたものである				
指標の推移	単位	現在値(H21)	実 績 値					目標値(H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	人	593,643	569,301	537,052	590,295	555,479	580,107	436,240 (734,053)	1,000,000
評価の理由	平成27年度に川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設(ウエスタ川越)が開館し、平成26年度までより利用者数が増加しており、おおむね順調に進ちよくしています。								
改善の方策等	総合文化祭実行委員会を組織するなど、文化芸術団体のネットワークの強化に努めています。今後、文化芸術団体間の更なる交流の機会の設定や、各団体の情報等の提供に努めてまいります。								

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造  
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(4)文化芸術活動への支援と交流の促進				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①文化芸術活動への支援	文化芸術振興課	A	A	
	②文化芸術活動の場の整備	文化芸術振興課	A		
③文化交流の促進	文化芸術振興課・国際文化交流課	B			
学識経験者等意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウエスタ川越のホールがなかなかとれないようであるが、市立小中学校の合唱祭等の催しについては、ウエスタ川越のホールが利用できるように検討していただきたい。</li> <li>川越市文化スポーツ顕彰については、市民の励みになるので実施していただきたい。</li> <li>ウエスタ川越の運営については、指定管理者制度のメリットを生かしつつ、デメリットを補完しながら、長期的に快適な環境を維持できるように努めていただきたい。</li> </ul>				A